

R元年度 高松市立新番丁小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

確かな学力と規範意識を身につけ、郷土高松を誇りに思い、
未来に向かってたくましく生きる子どもの育成

【本校の課題】

開校以来、全ての学年において、新体力テストの多くの項目で全国平均を下回る結果が続いている。過去3年間では、総合得点も含めた全108項目中全国平均より下回ったものは以下になる。平成28年度が80項目(74%)、平成29年度83項目(77%)、平成30年度71項目(66%)となっており、昨今憂慮されている子どもの体力・運動能力の低下が、本校にも当てはまる状況にある。

【現状】

休み時間には、固定遊具や一輪車、ボール遊び、鬼ごっこなどで、運動場いっぱい広がって元気よく外遊びをする子どもの姿が見られる。その反面、教室等の室内で過ごす子どもも多い。また、習い事や地域のスポーツ少年団等に参加している児童とそうでない児童の間に、運動習慣や運動能力にかなりの二極化傾向がみられる。ただ、平成27年度から導入した、スポーツタイムに関して、今年度の児童対象意識調査では、「大好き→54%、好き→17%」と好結果が示されている。また、年間3回(運動会、ボール運動、なわとび)クラスマッチを実施している。その際、各学年の実態に応じて、具体的なめあてを設定し、振り返りを大切にしているようにしている。

【取組み】

毎週水・金曜日の朝の活動をスポーツタイムとして設定
外遊びに限らず、雨の日にも室内で体力
つくりできるように様々な運動遊びを行
う。昨年度から活動場所を考慮し、1・
3・5年と2・4・6年に分けて
水・金曜日に行う。運
動量を確保し、友だち
と共に体を動かす楽し
さを感じながら、体力
の向上に結び付けていく。



固定遊具等の遊び方や運動のポイントを紹介する掲示物
固定遊具や竹馬、一輪車等の遊び方が子
どもたちの中で一般化されていない。思い
思いの遊び方だけでなく、
昇級や得点を設けること
で自分なりの目標を持ち、
意欲的に体を動かせるよ
うにしていく。



年間を通したS1活動

5・6年生の希望者による運動部活動を、
年間を通して計画的に進める。水泳・陸上を
基本とするが、時期に応じて体づくり運動や
ボール運動も展開する。個人の目標設定を明
確にし、体力や技能の伸びを実感できるよう
に工夫する。

運動委員会が計画する運動イベント

昼休みに体づくり運動をしたり新体力カテ
ストを計測したりする。学年ごとのランキ
ングを児童玄関に掲示する。さらに、1学
期の体力テスト時から
の伸びも表示し、意欲
化を図る。



【目標】

- 学校独自のアンケートに「1日の平均運動時間」を問う項目を設定し、実態を把握する。年度末には当初の結果数値を上回るようにする。
- 運動委員会を中心に昼休みの運動イベントを企画し、運動の楽しさを味わいながら、体力づくりに進んで取り組む児童の育成を目指す。